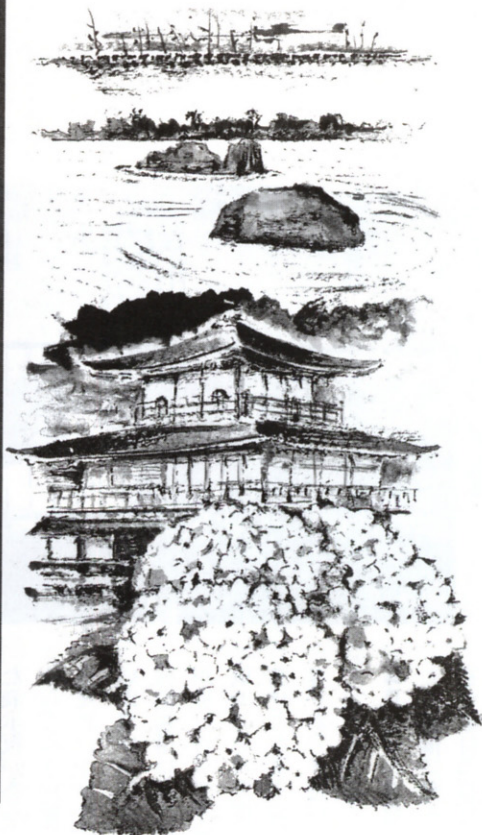


ILLUST: 村上智行

キャンピングカーで行く!!
日本列島ぐるり

旅日記



愛犬との日本一周クルマ旅

今回の旅人

山口 理

年齢: 61歳

職業: 作家

在住: 千葉県

同行: こゆき (ペット)

サクラ前線北上中のある日、私は愛犬と旅に出た。期間を1カ月と決めたくえでの日本一周である。愛犬の名は「こゆき」。3歳になる雌の柴犬だ。

2014年3月29日

首都高速道路の渋滞を抜けると、富士山が大きく見えてくる。初日の宿は、なじみのある道の駅なるさわだ。到着すると期待していたとおり、富士山の冠雪は見事だった。しかし、満開に近いはずのサクラがない。よく考えれば、この道の駅は標高が1000mを超えており気温が低い。サクラなど、まだつぼみの状態だ。おまけに雲行きが怪しい。

こゆきの散歩を早めに済ませようとしているうちに、雨が降り始めた。目の前に広がっているはずの富士山も、まったく見えない。そそくさと車内へと潜り込んだ。

3月30日

この旅ではできるだけ高速道

路を使わないと決めてはいたが、2日目にして東名高速道路を走ることになった。高速では90km/hを超えないペースを守るよう心がけている。家を背負って走ってくれているだけでも感謝である。だから高速では「抜かれる快感」を味わって走る。

ふと気がつけば、すでに滋賀県に入っている。出発してまだ2日目、これは少々走りすぎだ。国道1号線を走り、大津の手前で日が暮れた。明日からはベースを落とそう。

今回の旅は道の駅に限定せず、さまざまな宿泊地で泊まっていたいと思っていたところに、隼人川みずべ公園という小さな公園の駐車場が目に入った。ここで宿泊を決め込む。

3月31日

3日目は早くも四国を目指す。淡路島に渡る明石海峡大橋のたもとにある露天風呂「松帆の郷」(ルートガイド①)で入浴したが、これが何と貸し切り状態。

旅 グルマ ▶ コルドリーブス(バンテック)

● ジルからコルドリーブスに継承された広々としたダイネットや両側の窓と大きな空間がもたらすゆったり感はシリーズ随一。エントランスステップからキッチン前マルチルームまでを気軽に靴のまま入れるように、FRP加工したここは完全防水なので、濡れたカッパの脱ぎ着も問題ない。新たな使い勝手を提案したキャンピングカーだ。



まさに気分そう快だった。淡路島を縦断し、この日の宿泊地、道の駅第九の里には早めに到着した。

サクラは今、このあたりが満開なのだろうか、見上げたときの花明かりが幻想的だ。今回の楽しみの1つに、サクラ前線との追いかっこがある。旅立つ

